



2023年5月11日

各 位

会社名 株式会社ビジネスブレイン太田昭和
代表者名 代表取締役社長 小宮 一浩
(コード：9658 東証プライム)
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長
上原 仁
電話 03-3507-1302

業績予想及び配当予想の修正、並びに配当政策の変更に関するお知らせ

当社は、2023年4月28日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」において未定としておりました2024年3月期の業績予想及び配当予想、並びに当社の配当政策に付きまして、2023年5月10日開催の取締役会において、以下のとおり修正、変更することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想 (B)	34,000	2,600	20,920	14,552	14,522	1,262.79
増減額 (B - A)	-	-	-	-	-	-
増減率 (%)	-	-	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	37,063	3,208	3,241	2,110	1,882	159.02

2. 2024年3月期 第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正
(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	未定	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想 (B)	16,000	1,200	19,350	13,412	13,397	1,164.90
増減額 (B - A)	-	-	-	-	-	-
増減率 (%)	-	-	-	-	-	-
(参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	17,626	1,533	1,534	891	794	66.48

3. 2024年3月期 配当予想の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想	未定	未定	未定
今回修正予想	33.00	39.00	72.00
前期実績 (2023年3月期)	22.00	26.00	48.00

4. 配当政策変更の内容
(変更前)

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考えております。利益配分につきましては、当期業績に基づく株主の皆様への利益還元と財務体質の強化のための内部留保を総合的に勘案して、配当性向 30%を基本に実施する方針であります。

(変更後)

当社は創業以来一貫して、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考えております。利益配分につきましては、当期業績に基づく株主の皆様への利益還元と財務体質の強化のための内部留保を総合的に勘案して、一時的な損益項目を除く連結配当性向 40%を基本に実施する方針であります。

5. 修正及び変更の理由

本日発表した「(経過開示) 連結子会社の異動を伴う株式の一部売却及び特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、当社連結子会社であるグローバルセキュリティエキスパート株式会社 (以下、GSX社) の株式の一部を売却しましたので、現時点で入手可能な情報をもとに、業績予想を算定いたしました。

この売却によりGSX社が連結子会社から持分法適用会社となるため、当社の2024年3月期の連結損益計算書においては、GSX社の売上収益、営業利益が集計されず、GSX社の当期利益の持分相当額が持分法による投資損益として税引前利益に集計されることとなります。また、税引前利益には、GSX株式の売却益が1,924百万円計上されるとともに、IFRSの規程によりGSX株式の残保有部分に対応する評価益が16,096百万円計上されます。なお、GSX株式の

売却理由につきましては、2023年5月10日付「連結子会社の異動を伴う株式の一部売却に関するお知らせ」をご参照くださいますようお願いいたします。

2023年3月期について、GSX社を持分法適用会社として作成した場合の連結損益計算書の概要は次のとおりになります。

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前期実績 (2023年3月期)	百万円 37,063	百万円 3,208	百万円 3,241	百万円 2,110	百万円 1,882
GSX社の実績調整 (連結調整を含む)	△5,315	△699	△465	△221	-
GSX社に持分法を適用した場合の前期実績	31,748	2,509	2,776	1,889	1,882
(参考) 2024年3月期業績予想	34,000	2,600	20,920	14,552	14,522

当社グループでは、2024年3月期を最終年度とした中期経営計画を作成しており、2024年3月期の売上目標を400億円、営業利益を34億円としておりました。今回のGSX社株式売却により下方修正いたしますが、2030年度に目指すGoal2030 売上1,000億円、営業利益100億円は変更せず成長を加速させていく所存でございます。

今回の売却により獲得した資金につきましては、今後の成長資金の一部として活用することを前提に検討を進めておりますが、一方でROEの改善も重要な経営課題として認識しております。今回の配当政策の変更で、連結配当性向を40%に引き上げることによりROEの改善を進めるとともに、手元資金については、今後の成長投資計画の検討を更に進め適正残高を設定したうえで余剰と考えられる部分について株主還元の出発点としていく予定です。

なお、文中の金額に係る事項は、監査法人の監査を受けておりませんので、後日修正される可能性があります。

6. 今後の見通し

コンサルティング・システム開発セグメントの売上収益におきましては、会計システムコンサルティング及びシステム開発事業及び金融業界向けシステム開発事業が、好調な事業環境により順調に推移すると見込んでおります。一方で、前連結会計年度に大きく伸長したPLM支援ソリューション事業におきましては、主要顧客の需要が一巡したことから、前年並みと見込んでおります。これらにより、セグメント全体ではGSX社の影響の調整後で8%程度の増収を見込んでおります。

マネージメントサービス(BPO)事業の売上収益におきましては、基本的にストック型のビジネスであり堅調な業績推移が次期も継続すること等から、前年並みと見込んでおります。

以上を踏まえ、当社グループ全体ではGSX社の影響の調整後で7.1%の増収を見込んでおります。

一方で損益につきましては、特にコンサルティング・システム開発セグメントの社員稼働率を安定的な水準に戻すことによる利益率の低下や、人財の採用関連費用、DX人財の育成費用等を計上した結果、営業利益で3.6%の増益を見込んでおります。さらに、非営業項目としては、前述のとおりGSX社関連の一時的な利益18,020百万円(売却益1,924百万円、評価益16,096百万円)等が計上される見込みです。

結果として次期の業績見通しは、売上収益34,000百万円、営業利益2,600百万円、税引前利益20,920百万円、当期利益14,552百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益14,522百万円

であります。また、連結営業利益率は7.6%、自己資本利益率（ROE）は、64%を見込んでおります。

以 上